

2016年剣岳夏山合宿



剣沢キャンプ場から剣岳

記録 福澤 卓三

日時：2016年8月10日(木)～13日(土)

メンバー：L 金井良一、福澤卓三、河本嘉照、稲福恵美子、山口修、富岡英俊

コースタイム：

8月10日夜

追浜(21:00)稲福の車に6人同乗－扇沢(3:10)、車中で仮眠

8月11日(晴れ)

扇沢(7:30)－(トローリーバス・ロープウェイ・トローリーバス)－室堂(9:10)－別山乗越
(12:00)－剣沢キャンプ場(13:50)

8月12日(晴れ)

剣沢キャンプ(5:00)－取付(6:30)－源治郎尾根－劔岳本峰(13:00)－劔沢キャンプ
場(17:00)

8月13日(晴れ)

劔沢キャンプ場(6:15)－別山乗越(7:00)－扇沢(12:00)

8月10日(晴れ)

追浜に集合して6人が1台の車に乗り出発。無事に扇沢に着いたが、無料の駐車場はどこも空きがなく有料の駐車場にとめ、時間も遅いため(3:10)天幕を張らずに車の中で仮眠をした。

8月11日(晴れ)

トロリーバスに朝一番に乗ろうと思ったが、下の写真のように先客が大勢ならんでいた。トロリーバス・ロープウェイ・トロリーバスと順調に乗り継ぎ1時間30分ほどで室堂についた。トロリーバスの両サイドの雪の壁も今年はかなり少なかった。



扇沢のトロリーバスの順番待ちの行列。



室堂

気持ちの良い天気の中快適に別山乗越を目指して高度を稼いでいくが、福澤のみピッチがあがらない。自慢の片桐のザックも色落ちして、かなりクラシック調になっている。必死で別山乗越につき一休み。こんなに苦しいとは思わなかった。太りすぎと体力の衰えを素直にみとめなければいけない。やはり山に行くのが最高のトレーニングである。剣沢のキャンプ場までは下るのみなので元気がでる。



別山乗越



ミクリガ池



剣沢キャンプ場

キャンプ場には13時50分に到着。水は豊富にある。早速ビールを買ってきて冷やして乾杯。
トイレは遠くにあり不便だがきれいになっていた。

8月12日



登攀準備をしていざ出発

源治郎尾根は人気があるので順番待ちを避けるために早めに出発した。夏道をどんどん下り早めに雪渓において時間をかせぎたかったが、氷っていて悪そうでなかなか雪渓に降りられない、かなり下で雪渓に降りたが表面が氷っていてアイゼンがほしいところである。

平蔵谷の前を横切り少し行くと取り付きがある。正規の取り付きより手前側をほかのパーティーが取り付けていたので後を追ってとりついた。草付きを上り右にトラバースすると、正規のルートに出た。先行は1パーティーのみである。縦走路ではないので、登山道は悪いが顕著にルートを追える。所々7~8m位の岩場がでて、ザイルを出して登る。3か所ほど登ったところで、前のパーティーに追いつき順番待ちになった。第一岩峰が見え出したところで、稲福が暑さにやられたのか座り込んでしまった。この先無理と判断して、今ここで下るしかないなので、金井代表と福澤がついて降りることにした。アタック隊は暑さの中、水筒の水が切れて、のどの渇きと闘いながら、順調に本峰を踏んで別山尾根経由で剣沢のベースについた。夜冷やしたビールで乾杯。



剣 沢



平 蔵 谷



正規の取付



奥が第一岩峰



第一岩峰



第一岩峰の下り



剣岳本峰

8月13日

来年の春・夏・冬合宿は剣岳にしよう。夏は剣の岩場をやろうと誓い、良い天気の中、別山乗越経由で剣沢をあとにした。



剣沢ベースキャンプにて



黒四ダムにて